

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030050

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 次期計画内容 L=70m(操業船10隻) ○事業費 14,000千円 ・建設費 14,000千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 / 町補助金 7,000千円
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	しじみ貝増産事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	漁場造成(耕うん、施設設置に伴う実績調査)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	①62.1ha(耕うん)、②1回(実績調査)	関係例規・法令名		
住民参加	無	関係個別計画名		

131	全体計画 事業内容	平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容	
計 画 内 容	(1)耕うん オニシ湖において耕うんを実施し、しじみ貝の生息環境の改善による生存率アップを図る。 (2)棧橋の設置に伴う漁獲等実績調査 年1回実施 ○総事業費 5,580千円 ・耕耘 ○補助率 1/2(補助残) 市町村事務費補助金は全額補助	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 2,000千円 用船料、賃金他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 265千円 ・町補助金 602千円 ・自己資金 603千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	オニシ湖の漁場造成 耕耘 A=20.7ha ○事業費 1,790千円 用船料、賃金、事務費他 ○財源内訳 ・国補助金 530千円 ・道補助金 355千円 ・町補助金 452千円 ・自己資金 453千円 ○市町村事務費補助金 90千円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円	棧橋設置のための特採許可による操業実績調査 ○事業費 0円	
		事業費(千円) 1,776 国庫支出金 0 道支出金 270 地方債 0 その他 0 一般財源 1,506	692	542	542	0	0
計 画 事 業 費	事業費(千円) 603 国庫支出金 0 道支出金 256 地方債 0 その他 0 一般財源 347	90	288	225	0	0	
	実績事業費 国庫支出金 0 道支出金 90 地方債 0 その他 0 一般財源 0	90	87	79			
関 連 事 項	特定財源の名称 環境・生態系保全活動支援事業(推進活動支援事業)補助金(90千円)	【評価・実績】 (実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 16日 耕耘面積 実:5.25ha 延べ:9.00ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 C-継続/拡充	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 40日 耕耘面積 実:16.5ha 延べ:36.5ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・漁場造成(耕耘) 耕耘日数 29日 耕耘面積 実:9.25ha 延べ:14.75ha モニタリング 1回 ※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ・漁場調査 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 漁場造成 20.7ha	年度達成率 13%	年度目標値 漁場造成 20.7ha	年度達成率 53%	年度目標値 漁場造成 20.7ha	年度達成率 42%
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度目標値 調査実施	年度達成率 5%	年度目標値 調査実施	年度達成率 21%	年度目標値 調査実施	年度達成率 34%
		備考欄				#DIV/0!	#DIV/0!
					34%	34%	

事業名	しじみ貝増産事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	漁場調査実績								
【抱える課題やニーズは】	オニシ湖のしじみ貝の資源増加が見込めない。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	オニシ湖のしじみ貝の生存率の向上を図る。	① 漁場調査面積	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20.7 ha</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10.3 ha</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>49.8 %</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	20.7 ha	実績値	10.3 ha	達成度	49.8 %
目標年度	平成28年度										
目標値	20.7 ha										
実績値	10.3 ha										
達成度	49.8 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	資源量の増加による安定した漁業種の確立、生産額の向上を目指す。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁協による現地調査	生存性の確認									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	健康食品に位置付けられるしじみ貝は、オニシ湖において生息が確認されているが、安定的な漁業種とするため、生存状況を調査する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	漁場において一定の生存性が確認されたことから、今後の漁獲等について検討が進められた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	調査・検討のため、事業費をかけずに行った。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	費用負担も無く、漁業者への公平性が保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>		
漁場調査を実施し、次年度からの本許可による操業について検討されたことから、継続した調査・検討を進めていく必要がある。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
新たな漁業種として期待できることから、漁協と連携して今後の展開の検討を継続して進める。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止